

令和7年度 全日本消防人共済会事業報告書

全日本消防人共済会は、協同互助の精神に基づき、組合員（全国の消防団員及び消防職員等）の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的として火災共済事業を行っており、その事業運営にあたっては、平成21年度に決定した「これからの全日本消防人共済会の運営にあたっての基本方針」に基づいて行っております。

令和7年度の事業報告については、消費生活協同組合法第31条の9の規定に基づく同法施行規則第4章第4節事業報告書及び第5節附属明細書に規定されているところにより報告します。

1 組合の事業活動の概況に関する事項

1-1 当該事業年度の末日における重要な事業活動の内容

全日本消防人共済会（以下「当共済会」といいます。）が行った主な事業は次のとおりです。

火災共済事業（火災共済金及び風水雪害等共済金の支払い）

1-2 当該事業年度における事業の経過及びその成果

当共済会の令和7年度の事業経過及びその成果は次のとおりです。

(1) 組合員出資金異動表（令和8年3月31日現在）

区 分	令和6年度	令和7年度	増 減
組合員数（人）	245,558	231,586	△13,972
出資口数（口）	3,584,862	3,776,588	191,726
組合員出資金（円）	358,486,269	377,658,808	19,172,539

(2) 組合員数の内訳（令和8年3月31日現在）

区 分	令和7年度	契約者数の区分と契約申込者の内訳		
		B型火災共済	C型火災共済	B・C型火災共済
組合員数（人）	231,586	231,444	105	37

(3) 共済事業加入契約者増減表（令和8年3月31日現在）

区 分	令和6年度	令和7年度	増 減
加入契約者数（人）	245,558	231,586	△13,972
加入口数（口）	2,942,565	2,807,357	△135,208
受入共済掛金（円）	294,715,720	280,191,220	△14,524,500

(4) 共済金等支払状況（単位：円）

区 分	令和 6 年度		令和 7 年度		増 減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
火災共済金	43	44,835,134	38	54,074,118	△ 5	9,238,984
風水雪害等共済金	75	20,737,500	34	6,105,000	△ 41	△ 14,632,500
合 計	118	65,572,634	72	60,179,118	△ 46	△ 5,393,516
地震等災害見舞金	970	45,550,000	35	1,420,000	△ 935	△ 44,130,000

火災共済金は、件数は昨年度を下回りましたが、1件あたりの共済金額が高い事案が多かったことが影響し、支払額は増加しました。風水雪害等共済金は、台風や豪雨による災害が少なかったことから、件数、支払額とも昨年度から減少しました。

また、地震等災害見舞金は、「令和 6 年能登半島地震」によるもので、件数・支払額とも昨年度から大幅に減少しました。

(5) 支払余力比率（単位：百万円）

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度差
支払余力総数（A）		1,943	1,971	28
リスク総数（B）		212	190	△ 22
	R1（一般共済リスク）	79	56	△ 23
	R2（巨大災害リスク）	129	129	0
	R3（予定利率リスク）	0	0	0
	R4（財産運用リスク）	5	5	0
	R5（経営管理リスク）	4	4	0
	R6（第 3 分野リスク）	0	0	0
支払余力比率（C） (C)=(A)÷[(B)×1/2]×100		1,830%	2,075%	245%

リスク総額の計算 $[(R1)^2 + (R3 + R4)^2]^{1/2} + R2 + R5$

支払余力比率の巨大災害リスクの計算については、厚生労働省の通知（平成 27 年 3 月 31 日付社援協発 0331 号第 2 号）により、工学的事故発生モデルを用いた手法で算出しています。

1-3 増資及び資金の借入れその他の資金調達状況

令和 7 年度において資金の借入その他の資金の調達はありません。

1-4 組合が所有する施設の建設又は改修その他の設備投資

当共済会は、施設を所有していません。

1-5 他の法人との業務上の提携

当共済会が他の法人との間で業務上の提携を行っているものではありませんが、加入促進や広報活動において、消防団員等の活動支援等を行っている公益財団法人日本消防協会と協力し、合同で加入促進説明会を行うなどの活動を行っています。

1-6 直前3事業年度の財産及び損益の状況

直前3事業年度の財産及び損益の状況は次のとおりです。

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	本年度
組合員数(人)	282,415	259,783	245,558	231,586
組合員出資金	320,001,105	339,167,415	358,486,269	377,658,808
受入共済掛金	337,318,840	311,885,100	294,715,720	280,191,220
支払共済金	34,354,554	37,664,973	65,572,634	60,179,118
地震等災害見舞金	13,720,000	2,650,000	45,550,000	1,420,000
経常剰余金	166,977,913	185,631,779	105,396,479	96,408,527
利用分量割戻金	66,190,236	62,348,368	60,810,954	
総 資 産	2,799,021,683	2,854,701,815	2,819,507,621	2,854,149,503
(有価証券)	(1,120,365,692)	(1,299,532,825)	(2,194,782,770)	(2,084,042,292)
純 資 産	1,956,026,380	2,029,583,363	2,045,116,386	2,088,350,402

1-7 今後対処すべき重要な課題

近年、自然災害が増加傾向にあることから、高まる自然災害のリスクの下であっても出動し、防災活動を行う消防団員である組合員の皆様に対して、これまで以上に安心して防災活動や日常生活を送っていただくため、風水雪害等共済金の補償額を令和5年6月30日から大幅に拡大しました。今年度も、地震等災害見舞金とあわせて広報に力を入れ、職域活動を活発に行うことで、加入契約者数及び加入口数の増に繋げ、加入率一桁の支部については当面の加入率目標を10%以上として加入促進に取り組んでまいります。

1-8 教育事業の状況

当共済会は、火災共済事業のほか、次のような活動を行いました。

(1) 火災予防ポスターの募集及び配布(41回目)

全国の小学生・中学生を対象とした火災予防ポスター図案を募集し、令和7年度全国統一防火標語を記入した防火ポスターを3万7千枚作成し、火災予防運動に呼応して各都道府県(消防協会)及び各市町村へ配布し、消防関係者と共に組合員に対する火災予防思想の普及、高揚に努めました。本年度は、全国343校から2,712点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞は、広島県福山市立鳳中学校1年 米田莉子さんの作品が選ばれました。

(2) 防火防災に関する作文の募集と作文集の配布（25回目）

全国の中学生を対象に「防火防災に関する」作文を募集し、佳作以上の作品を入賞作品集として文集を5,000冊作成し、全国の消防機関へ配布し、消防関係者とともに組合員に対する防火防災意識の高揚に努めました。本年度は、全国95校から921点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞は、鹿児島県薩摩川内市立川内南中学校2年 松山仁悠さんの作品が選ばれました。

(3) 防災活動車の交付

教育事業として、組合員である消防団員が平時には地域住民に対する防火防災のための広報として、災害時には地域住民の避難誘導など地域の防災と福祉の向上を目的として、防災活動車2台の交付を行いました。

2 組合の運営組織の状況に関する事項

2-1 前事業年度における総代会の開催状況

令和7年度に開催した総代会及びその議決事項等は次のとおりです。

開催年月日	令和7年6月20日 通常総代会		
総代総数	100名		
出席総代数	97名		
議案及び議決状況等	議案		
	第1号議案	令和6年度事業及び決算認定について 監査報告	承認
	第2号議案	令和6年度剰余金処分について	承認
	第3号議案	役員の選任について	承認

開催年月日	令和8年3月6日 臨時総代会											
総代総数	104名											
出席総代数	104名											
議案及び議決状況等	<table><tr><td>議案</td><td></td><td></td></tr><tr><td>第1号議案</td><td>令和8年度事業計画書収支予算書について</td><td>承認</td></tr><tr><td>第2号議案</td><td>令和8年度役員報酬の支給について</td><td>承認</td></tr></table>			議案			第1号議案	令和8年度事業計画書収支予算書について	承認	第2号議案	令和8年度役員報酬の支給について	承認
議案												
第1号議案	令和8年度事業計画書収支予算書について	承認										
第2号議案	令和8年度役員報酬の支給について	承認										

2-2 組合員に関する事項

令和8年3月31日現在における組合員数等の状況は、前記1-2の(1)組合員出資金異動表のとおりです。

2-3 役員に関する事項

当共済会における令和8年3月31日現在の役員名簿は次のとおりです。

役 職 名	氏 名	都道府県名	就任又は再任日
会 長（代表理事）	秋本 敏文		令和6年6月27日就任
理事長（代表理事）	三輪 和夫		令和7年6月27日就任
常務理事（理 事）	米澤 健		令和6年8月1日就任
理 事	佐藤 孝義	宮城県	令和6年6月27日就任
理 事	森田 耕一	埼玉県	令和6年6月27日就任
理 事	河合 有二	岐阜県	令和6年6月27日就任
理 事	安満 真哉	兵庫県	令和6年6月27日就任
理 事	中嶋 政幸	鳥取県	令和7年6月20日就任
監 事	高橋 昌久	宮崎県	令和7年6月20日就任
監 事	水島 三雄		令和6年6月27日就任
監 事	植田 和生		令和6年6月27日就任

2-4 職員数及びその増減その他の職員の状況

職員の状況は次のとおりです。

区 分	前期末	当期末	備 考
正規職員	7 人	8 人	
派遣職員	2 人	2 人	
計	9 人	10 人	

2-5 業務の運営の組織に関する事項

当共済会における業務運営の組織は次のとおりです。

総 代 104 名 理 事 8 名 監 事 3 名

会 長－理事長－常務理事－事務局長－火災共済部長－課長－主査－主事
(代 表 理 事) 出納室長－係員－係員

47 都道府県支部長－支部事務長

2-6 施設の設置状況に関する事項

当共済会の事務室は日本消防会館の一部を賃借しており、その面積は次のとおりです。

施設名	所在地	賃借面積 (㎡)	備 考
日本消防会館 (全日本消防人共済会)	東京都港区虎ノ門 2-9-16	154.97 ㎡	

3 附属明細書

3-1 役員報酬等の状況

役員報酬明細

区 分	定款上の定員	支給人員	支給総額	備 考
理 事	7 人以上 9 人以内	3 人	7,425,912 円	
監 事	2 人以上 3 人以内	なし	なし	
計		3 人	7,425,912 円	

3-2 役員その他の法人等の業務執行者兼職状況

当共済会の役員その他の法人等の兼職の状況は次のとおりです。

役職名	常 勤 非常勤	氏 名	兼 職 先 名	兼職先での役職名
会 長 (代表理事)	非常勤	秋本 敏文	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	会 長 会 長
理事長 (代表理事)	常 勤	三輪 和夫	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	理事長 理事長

常務理事	常 勤	米澤 健	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	常務理事 常任参事
理 事	非常勤	佐藤 孝義	(公財) 日本消防協会 (公財) 宮城県消防協会	副会長 会 長
理 事	非常勤	森田 耕一	(公財) 日本消防協会 (公財) 埼玉県消防協会	副会長 会 長
理 事	非常勤	河合 有二	(公財) 日本消防協会 (一財) 岐阜県消防協会	副会長 会 長
理 事	非常勤	安満 真哉	(公財) 日本消防協会 (公財) 兵庫県消防協会	副会長 会 長
理 事	非常勤	中嶋 政幸	(公財) 日本消防協会 (公財) 鳥取県消防協会	副会長 会 長
監 事	非常勤	高橋 昌久	(公財) 日本消防協会 (公財) 宮崎県消防協会	副会長 会 長

3－3 当共済会と役員との間の利益が相反する取引

無し。